

※「P」はページを「L」は行を指します。

一時間目

- ◎「漢字の学習」P6・7の上段を練習しましょう。毎週四時間目に確認テストがありますので、それまで三時間の十問ずつについて、しっかり身につけていきましょう。新出漢字の“なぞり”も忘れずに。
＜本時のねらい＞序論と本論Ⅰ（エンペラーペンギン）の内容を理解しよう。
- ①教科書の第①段落～第④段落まで読み、ワークのP三〇、BのⅠ・2の間に答えましょう。
「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましょう。
- ②教科書の第⑤段落から第⑫段落までを読み、ワークP三二のDのⅠからP三三の終わりまでの間に答えましょう。
「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましょう。
- ③本時の課題はここまでです。時間があれば、第①～⑫段落をもう一度読んでおきましょう。

二時間目

- ◎「漢字の学習」P6・7の中段を練習しましょう。毎週四時間目に確認テストがありますので、それまで三時間の十問ずつについて、しっかり身につけていきましょう。新出漢字の“なぞり”も忘れずに。
＜本時のねらい＞本論Ⅱ（アデリーペンギン）と結論の内容を理解しよう。
- ①教科書の第⑬段落～第⑯段落までを読み、ワークP三二のDのⅠから3の間に答えましょう。
「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましょう。
- ②教科書の第⑰・⑱段落を読み、ワークのP三三のEのⅠからP三三の終わりまでの間に答えましょう。
「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましょう。
- ③本時の課題はここまでです。時間があれば、第⑬段落から終わりまでをもう一度読んでおきましょう。

三時間目

- ◎「漢字の学習」P6・7の下段を練習しましょう。毎週四時間目に確認テストがありますので、それまで三時間の十問ずつについて、しっかり身につけていきましょう。新出漢字の“なぞり”も忘れずに。
＜本時のねらい＞文章の構成や事実と考えの示し方に着目して、筆者の説明の仕方の特徴を捉えよう。
- ①調査からわかった事実と、事実から導き出した筆者の考えを意識しながら、本文全体をもう一度じっくり読みましょう。
- ②教科書の本文を確認しながら、ワークのP三四の表を完成させ、内容をまとめましょう。
- ③本時の課題はここまでです。お疲れ様でした。

四時間目

- ◎「漢字小テスト3」を五分以内で行いましょう（きちんと時間を計ること）。「漢字の学習」を使って自己採点をしましょう。間違えた問題のみをもう一度解き直し、満点が取れるまで繰り返ししましょう。

＜裏面＞

〈本時のねらい〉「バイオリギング」の可能性について考え、ものの見方や考え方を広げよう。

- ①「バイオリギング」の可能性について筆者が考えていることに対して、次のA～Dの視点からひとつを選んで記号を○で囲み、自分が感じたこと、考えたことをまとめましょう（資料等で調べても構いませんが、丸写しはしないこと。資料を通じて自分の感じたことや考えを書きましょう）。

〈「バイオリギング」の可能性について筆者が考えていること〉

☆筆者は「バイオリギング」について。人間の想像や行動圏をはるかに超えた動物たちの生態を捉えることを可能にする技術であると述べている。そして動物たちがもたらすデータによって、人類が思考できる範囲を大きく広げることができると述べている。

- A 「バイオリギング」の研究はこんな分野に生かせそう。
B 「バイオリギング」で調べて欲しい動物、テーマなど。
C 「バイオリギング」の他にも、こういう技術が必要だ。
D 「バイオリギング」のメリット、デメリット。

- ②今週はここまでです。時間があれば、本文をもう一度読み返しておきましょう。

今週の自己評価

- 4（とてもできた）3（大体できた）2（あまりできなかった）1（全くできなかった）
A 作者の相手に興味や関心を持たれる工夫に気付くことができた 4・3・2・1
B 課題についてわかるまで粘り強く取り組むことができたか 4・3・2・1
C 最終的に問題に対する答えの根拠や道筋を理解できたか 4・3・2・1
D 総合評価（A～Dの合計） A(⑫)(⑪)・B(⑩)(⑨)(⑧)・C(⑦)(⑥)(⑤)・D(④)(③)